



再エネで実現する循環型農業の未来

太陽の光は、自然の恵みであり、石油や石炭などのエネルギーに頼らずに、きれいなエネルギーを作ることができます。アクアポニクスは、魚と植物を一緒に育てる農業です。魚が出すおしっこやうんちをバクテリアが分解し、植物が吸収し、水をきれいにしてくれます。アクアポニクスでは、土や肥料を使わなくても、水や餌だけで魚と植物を育てることができます。

太陽光パネルで作った電気で、水質センサやポンプなどの必要な機器を動かし、自然にやさしい再生可能エネルギーと循環型農業を実現することができます。太陽光パネルとアクアポニクスの組み合わせは、環境負荷に配慮した循環型農業の未来です。

アクアポニクス (さかな畑) とは？



技術が支える循環型農業

太陽光パネルとアクアポニクスのシステムを運用するには、データの収集と可視化がとても大切です。どれだけのエネルギーを作って、どれだけの電気を使っているのかが見える化することで、効率的な管理ができます。また、魚や植物の水温やpHなどの環境情報も見える化することで、健康的な育成ができます。これらのデータを収集し、グラフや表などで表示することで運用が快適になります。自然にやさしい農業の未来を一緒に作りましょう。

